

2018年度森林公園だより No.20 2018年9月17日

9月の最初の3連休は前日までに天気予報ほどは天気は崩れず、比較的賑やかでした。秋の昆虫観察会(9月16日日曜日、17日月曜日)と2日連続で実施し、皆さんたくさんの昆虫たちと触れ合うことができました。タマムシを採った保護者さんもいらっしゃいました。コオロギ、キリギリス、カマキリ、バッタなどの秋の昆虫たちが全盛期を迎えています。秋の長雨の影響で、キノコがたくさん出ています。ナラ類、アカマツの周辺からは菌根菌(きんこんきん 樹木と共生関係を結ぶ)、倒木などから白色腐朽菌(はくしょくふきゅうきん リグニンなどを分解して土に還す)が沢山出ています。天気予報とは違った天気になったり、急な変化があります、雨具、長ぐつ、十分な量の飲み物をお持ち頂くと安心です。

テングタケの仲間



シロオニタケ



イグチの仲間



シロソウメンタケの仲間



オトコエシ



秋の昆虫観察会の様子



秋の昆虫観察会の様子



秋の昆虫観察会の様子



秋の昆虫観察会の様子



サイクリングロード



一口メモ 1

きのこは、普段はそれほど目立つ存在ではありませんが、森林の生態系においては極めて重要な位置にいます。特に白色腐朽菌は他の生物では困難なリグニンの分解という役割を果たしています。つまり、白色腐朽菌がいなければ、森林の物質循環は途切れてしまいます。きのこたちを森林生態系の一員として観察しながら森林を散策するのも楽しいかと思います。